

最新の学術情報を得るには、従来、雑誌購読あるいは図書館での閲覧が必要不可欠な方法であった。図書館といえば70万巻もの蔵書を誇ったアレクサンドリア図書館が思い浮かぶ。これは紀元前300年頃、エジプト、プトレマイオス朝のプトレマイオス1世によって世界中の文献を収集することを目的として建設されたものであるが、これだけの書物を集める方法の逸話として知られているものがある。当時のアレクサンドリアに入港した船は、積荷の書物をすべて一旦没収の上で保存価値ありと認めた場合に、写本を作成して(チャッカリ)原本の代わりに持ち主に戻し、同時に対価が支払われたとされる。そのように膨大な努力により蓄えられた蔵書も、その後の、虫害や火災によってほとんどは、灰燼に帰した。

翻って、この10数年の情報化の時代にあって、データの永久保存と活用のため、学術雑誌の電子化が世界の趨勢となった。本誌も多くの読者からの要望に応える形で、2012年1月に電子ジャーナル化を行った。配信に当たっては医学書院の電子ジャーナルサイト(MedicalFinder)を利用しており、学会ホームページの会員限定ページからアクセスすることで、無料で閲覧できるようになっている。

具体的には読みたい論文が決まっている場合、書誌情報(雑誌名、発行年・巻数、号数、ページ数)を入力して指定できるほか、雑誌一覧から「日本内視鏡外科学会雑誌」を選択して、目次から選ぶこともできる。また、キーワードや論文名、著者名などからの検索も可能である。試みに「単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術」で検索すると、たちどころに2編の原著論文、2編の症例報告、4編の手術手技が表示された。本誌掲載論文は全文がPDF形式で閲覧でき、また、収載他誌の文献概要も閲覧可能である。引用文献一覧から医学中央雑誌やPubMedなど国内外の電子ジャーナルに直接リンクが張られているため、情報の整理や論文作成に役立つ。

現在、バックナンバーは2007年発行の第12巻1号から収載されているが、医学書院では本誌を含めた全収載誌の創刊号からの電子化を計画しているという。本誌には我が国における内視鏡外科学の歴史がそのまま示されている。これを創刊号からすべて閲覧できるようになれば、読者にとって益するところ大であろう。日々の診療・研究に十分に活用していただくとともに、内視鏡外科学のさらなる発展に寄与する論文の投稿をお待ちしたい。

(北野正剛)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第18巻 第2号) 2013年3月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価: 2,940円(本体2,800円+税5%)。*会員には毎号送付されます。

2013年 年間購読料: 冊子版17,160円、電子版/個人17,160円、電子版/共有19,800円、冊子+電子版/個人20,160円、冊子+電子版/共有22,800円(税込)(配送料: 医学書院負担) *会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会(代表: 北野正剛)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階

日本コンベンションサービス株式会社内

☎03-3503-5917 Fax 03-3508-1302 E-mail: jses@convention.co.jp(担当: 野上)

http://www.jses.or.jp

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 18F-1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2013, Printed in Japan

発売: 株医学書院(代表: 金原 優)(本誌担当: 水野, 田村, 安部) http://www.igaku-shoin.co.jp/

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23(振替口座00170-9-96693番)

本誌編集室直通 ☎03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802/E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

da Vinci S Surgical System®を用いた直腸癌に対する

total mesorectal excision (TME) の短期成績塩見明生・他 静岡県立静岡がんセンター大腸外科
腹腔鏡下腹壁癒着ヘルニア修復術の検討中田 健・他 市立堺病院外科

●症例報告

術前に左卵巣嚢腫と診断された右卵管留水症捻転の 1 例福田友彦・他 国立国際医療研究センター産婦人科
腹腔鏡補助下回盲部切除を施行した腸管 Behçet 病の 3 例八重樫瑞典・他 岩手医科大学外科学講座
腹腔鏡手術直後に発症した上腸間膜動脈症候群の 2 例大野敬祐・他 小樽掖済会病院外科
胸腔鏡下食道切除後に発症した後縦隔乳び嚢胞に対する左胸腔鏡下切開

ドレナージ術山本希治・他 福岡大学筑紫病院外科
腹腔鏡下胃全摘術における食道空腸吻合トラブルに対し

経口アンビルを用いて再吻合した 1 例坂本快郎・他 国立病院機構九州がんセンター消化器外科
完全内臓逆位に合併した直腸癌に対し reduced port surgery で

腹腔鏡下超低位前方切除を施行した 1 例藤本崇聡・他 北九州市立医療センター外科

●短報

腹腔鏡下胃切除手術における MiniLap™ を用いた肝挙上法の

工夫 (Lifting MiniLap 法)稲葉一樹・他 名古屋第二赤十字病院一般消化器外科
他に症例報告が数編あります。但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。